來月十五.六兩日に亘り

**兄畿道に開催決定** 

る、これに参加する語は金鮮から

府からは南遊替代理金吐電器長が

\*

日滿貨物會議延期

たる漢口日本租界に相當有力部隊の強職隊を駐屯せした一十日意盟副領域口に派遣せりた。 では、大口の大田界に相當有力部隊の強隊を駐屯せしむる小型を認め、この意意部に対策さるとは、人用・財産の 本部財産の 不安払しきものある情勢に 鑑み中支における 個要地點によりる中国の政策を取りませる。最後(八月・財政権) 和解解教育、九月)及び今回の政ロにおける自國の首教等の選供指导と事件金数以外、の田型食財政(月川四)状況に過ぐるものあり全には「月川四」後の基準件の数数以外、自田型食財政(月川四) 世紀財政等の選供指导と事件金支に直り設定が一月に対しる中国の政策を選供指导と事件金支に直り設定が、「月川四」後の事件に翻訳し第三監察司令部は大の如き経験をたした。

漢口日本租界に駐屯せ

新方 配置(m)

支那街の犯行確認

脚し裏館の意を表した後被三時間「園地間で行ふことを提及訪問、今回の吉崎適度財散解作に「塩に居合せた時人取問べ

するの場合にあらず自ら信するこころに基き斷 乎自衛手段 を講じ支那官民の猛省を促す以上在支權益の擁護、在留民の生命財産保護の重任を 擔ふ帝國 海軍として最早際忍自重了、支那に誠意の見るべきものなく排日抗日の全滅に闘するわが衆を全面的に容認せざる

一奏、海軍省から發表

不

破

 $\equiv$ 

平

**碘の中に火鉢を図んで相對して** 

紐育タイムスの東洋觀

この結果大體支那個

時下の測盤幸を仰いで満成式を 単行したい意同で宮中の細部合 単行したい意同で宮中の細部合 連行したい意同で宮中の細部合 連行したい意同で宮中の細部合

式日取り決定新議事堂落成

山田 眞一

藤村、忠助 20 第

木

下

榮

東部分會

李



金

泰

潗

いた。対明の、背の

くる/〜ッと幾つた武吉の體は、帶を鉢たれたまゝ水車のやらに

やがてその猫によろめいて打倒れ 

たのでは役に立たね。起き上。」 『ふゝゝ。 鑑い奴だな。 倒れてゐ

長谷川

和三

猦

下略儀以紙上御厚の深甚なる御後援舉に際し當選の榮畢の祭

一変からうが難しの辛痩らや。それよく離べてあた。 、小さく離べてあた。 に照々と雅を飲めした日道は、机の N.C. 

車

鎬

明かれんだやらになって倒れてる。 「これ底音。これを抑える。」 「その屏風の後を見よる」 「その屏風の後を見よる」 「その屏風の後を見よる」

とがございませうとも、迷ひはいこれからはどのやうなこ 手始めに、お前にいまさせること に從つてをれば仕合せは来るのち盛することなく、わしの命のまゝ 「はい どのやうなことでもいた があるが、必ず拒みはせぬであら 13 ていまえること 手を掛けた。 関に立上らせ 学生 (明和拍量率九月司拍量) (明和拍量率九月司拍量) (明和拍量率九月司拍量) (明本) (明本) (日本) 常・連生 ・ 一連 ・ の場と深く率感謝疾茲に下略儀以紙上御厚 の場と深く率感謝疾茲に下略儀以紙上御厚 の場と深く率感謝疾茲に下略儀以紙上御厚 の場と深く率感謝疾茲に下略儀以紙上御厚

昭和拾藍华九月就拾蜜日

昌

業

朴

ル

信



鈴

木

文

助

### 金素素

部

分會

ADDRESS AND ADDRE

鈴木工











一日から博文寺







































































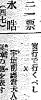




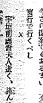


















## 

康

杓

京城の交通改善に

**夕通安全協會!** 

に流産となる

先づ測候所の充實が先決

財務局の査定で後まはしに決まる

盤互京域府の急端左្に開展に伊一起人温波路を明くこと」なった、「する調査研究」

愈よ近く發起人會開く

財務局では各地 型により、遠に流産となつた。 酸に対感を持ち とが第一次的問題で、「酸割所の

とが第一次的問題で、醍醐所の京城珍糠は第二次問題であるとのに観測所あるひは観測所支所を脱立して半島観測師の充實を計る

列車の屋根の色を

**南鮮の鐡道を空中から視察** 

はずである、現在の各車輪の屋根一必要があるものと見られる

各種の施設に改善

あす、京城防護演習行はる

新月 譜 🚳

診禁 十二時半マデ及ピタ到

Registered Brade Mork

名藏语规学山公告 十月一日申リ定時來主義會於了人 日这妹云名流"规"多位一級 昭和十一月九月廿一日 昭和十一月九月廿一日

皮膚泌尿花柳病

•

Q.

醫學博士 渡邊 晋 京城黃金町入口 日本生命記

ペルメル

東海林太郎傑作集

昨しぐれて河崎米山しぐれ日本館へ秋の女上原

一 克 道 邓 敬于

歌行流

商品祭廿五日 商工新聞出主服の第五回商

据一替一京一城一三一四一番一部本山三四番二五四(大店及工工用)

耐て一郎

こさずに 飲める

メーズノーー

自殺を企つ!

西西西本 三三三 省省省照

食料品店にあり



一の情報が来たので今回の汎連

アチャコ・今男チャコの結婚

昭和治宗年九月成治宣司

藤

東

作



常中述候 敬 具 御中述候 敬 具 の場と深く率感謝候兹に下略儀以紙上御厚の場と深く率感謝候兹に下略儀以紙上御厚の場と深く率感謝候茲に下略儀以紙上御厚の場と深く率感謝候茲に下略儀以紙上御厚。

眞

般天氣豫報



北 の風東 盛つたり

獵友會成績

仁川の潮時

或

友

尙

フスキー 洴 

常 選 御 建 の賜と深く奉感謝候兹に乍略儀以紙上御厚 の賜と深く奉感謝候兹に乍略儀以紙上御厚 の賜と深く奉感謝候兹に乍略儀以紙上御厚 の賜と深く本感謝候茲に乍略儀以紙上御厚 で明立候 敬 具

助

あう言ふの話を結論として、明治 本一の女」にすると 『それは好く解つてをります』 逝ける宇垣大將夫人の思出

東京電話 秋雨子日路る二十 の数の形間答で維沓を極めてる

**吊問客雜沓** 

2一時から前山窟里で郷式によ

本府各局長

官房談長一同として東京市四谷區

るが如く逝つたものである

弔電を發す

昨夜急に病革つて

お葬儀は廿五日正午青山て

長夫人の子守姿

フラージュする色彩に眺める情報でこれ等は一層に京優に開へカム

大驛を取扱、瞬として、

学 選 御 禮

今般京城府貧議員增員選舉に際し京選の榮
今般京城府貧議員增員選舉に際し京選の榮
を得候は偏に有權者各位の疾甚なる御後授
の賜と深く率感謝候茲に乍略儀以紙上御厚
標申述候 敬 具
「明和治室中人方は垣苦」

**局鐡では六驛で切符發賣** 

花子 勝大山 発順 第一 也保給 子子也郎 

賢夫人の譽れを殘し

|結果各施設の改善を行ふ | る超特急列車の銀色屋根も改善の||状況を見せることになつ | で一方来る十二月一日から運輸す

砂金鑛巡察中

学 選 御 禮 の賜と深く奉感謝侯茲に乍略儀以紙上御厚 の賜と深く奉感謝侯茲に作略儀以紙上御厚 の賜と深く奉感謝侯茲に作略後以紙上御厚 の賜と深く奉感謝侯茲に作略後以紙上御厚 の賜と深く本感謝侯茲に作略後以紙上御厚

**掘口町の間の中を歩いてゐるとこ** 

個日町の間の中を歩いてゐるとこ。| 走した、急報により平原料度が歴れ既繁盛支那人劉懿顺(a)が暦内。このを更に殴りつけて何處へか逃

| 平地|| 十九日 仮九時半頃 圏町五 | 河南(で)が突然便見で数り 粉倒す

**らを八千代明六多蔵| 利戈方支那人。 けつけ加密器の行方を捜査申であ。 スポンを引つかけ指車線路上に倒。 に於ける這版の源風雨に堪除決造。** 

路上に止つてるだトラックを避け 七金店機方の前を自順品で医走中

の配子金龍版「こが時内が歴史九

【鎌南浦】去る七月末に將内月見、し廻つたもので引戦き取調中

京城から押途

半脚で三ヶ所稼ぎ廃御へ來て荒ら 本年六月平壤服務所出所と同時に 年以來前科六郎を有する強か都で 九日押送されて來た、賦は大正十 この程気城西大門署に連那され十

|住他格(三)が女人果と蹴れながら 八日午後七時半水玉里四八萬子西

水利組合員結束して

府北第二十二號,運転手不幸淳(

た十九日午朝三時頃紀命 心が突進して来たため顕語を轄か 得九里附近で貼けてゐるところへ 「中国」版地の発通機一種

府電交通禍

歌中であつたが、夜歌館で一歩・ 後動機船が

發動機船盜難

二名死傷す

閣夜に煉瓦飛ぶ

通行中散々に殴る

支那人同志の爭ひ

の許可があり事務宗内には早くも

は十七日から全部冬服着用(音)とにらみ各層に指名手配中、

- ザを備へることになつた

[17] 十六日午後四境地方は一町一鼻手彬方に使入し靴下維尾狼一るが披露霜は後頭部に翌朝を受け

早くも暖爐の用意

對岸の警官は多服を着用

一般在側(So)の急停車も間に合はず 一れた折幌走つて来に応車、運得手

郡守會議慶北の府尹

假師原都を月下半級路で取割中

登山 ( 誘致

商議で 决定

沸き返った咸

催し物はいづれる大盛况

【数章】十七日陸気被割は主に数 雹害甚大 載信水利で

二割の減收

統督者で犯人物。近中 とれば相作百八十四町あのうち歴が総既にかいつたのを廿日朝懿見 | 信水利銀合の地域で富島の調査に

稅務署道路 棚を張つて

内に存在せる新道路から都道路に **安部成立し韓道を歴エして同氏所** 京城三角町李鎖朝氏と凸との間に で道路があったのが新道作説の際

収した結果有道路敷地も既接場の。 ・ のたため今回有土地を配接場の。 ・ のたため今回有土地を配接場では、海企受取りに来過する折、金州銭 たため今回有土地を影響が高で買いた。 であるが、高がその手段を認って、ひを満境に前以て各版技をして教 人々の郷を祭ることゝなり来る! 有地の中間に新道を作説したもの「迎菜は削品層級権級距鏡館を変換」人々の郷を祭ることゝなり来る! 有地の中間に新道を作説したもの「迎菜は削品層級権級距鏡館を変換。同校在級中に死去した数器の若き

珠算競技大會

馬山商業校

里七十町步▲洞浦川里六十町步面白山里十四町歩▲清川面選月

考慮してゐる、主なる被歌地脈は これが教施封策に組合對政策等を 風方破戦の見込である、組合では 最低五分平均二割一分七

不徳義な邑三員

弔慰金配給を機に

活動の切符を賣る

最古の

C 7 2

とすれば誠に遺憾である 大邱技藝校 同窓死亡者 慰難祭執行

れた(葛良は紫經祭) 五日同校に於て珠算競技大館を明。鑑、目下準備中である

十九日南鮮研名派別統合委員部で する道からの形骸金、見舞金の統

けたので一般罹災民は勿論市民はど強調的に防急疾患人場然を質付 持率する機能及民に通知せしめ船

過長の減 その不都合を貼へてゐる以下山口

奉天は感激の一色 

「一年成との間に総純を截起する。民に配紹を開始したが、この際、 交通を誤解したので機能地方質十 し色では去る十八日から一般能災 がは、この際、 では、この際、 では、この際、 では、この際、 では、この際、 では、この際、 では、この際、 では、この際、 に至ったが、右は従来隣側に沿ふ

【大邱】去る九月五日を以て大邱

•

てかくる不都領な行為があった。大意びである。

院願長の望月さん、なほ本年は到八日迄に十七名で・イの一番は新るが破事室の狩働意訳下附數は十

新

銳

優

良

依り慰恩祭を行ふこととなった 十七日午前九時より同校で神式に

絕

對

信

賴

単独三人つて狩猟界は眠つてみ 戦率の 猟天狗 【動琴】

半和を謳歌 事變五周年を迎へ

高女総堂で現門線を配し、午後七【馬山】馬山廣業県校では乗る十埋められた、一方正午からは浪遊・珠質・競技大会 さしもに覆き境内も登く人の政に続行された、参列都質に三萬旅、

あくまで大阪側は

【『山】の工館が所では朝鮮党域 風水階級無に関し自然共能を強調 く意み造り一片の洋霊もない絶好 戦と道部方針を十分代入して奥に一般では南部質、大野割師の統論方 道館職器に明備、前して今回の館 郡守會派は二十八日午前十時から 【大甲】上淵知単初統被の慶北回 一川地に輝き来風に指ぐる感謝また (十八日) 耶姨記念日は、秋茗荷の店儺となつて蘇に五點箱、けふ の記念目相だ、仰き見る思察塔は に端を膨した。脈小脈は東洋平和 【本天、関係海に響き渡つた帰晋

朝鮮米の不買問題を繞り

穀聯更に對策評定

が至極簡單に

て色々な染物 方にも御家庭 どんな素人の

みやさ

染なら

面白い程よく

**売が実同郷地立正く収录すること あり極めて有意変類実施であつたため、やむなく都主意教団と本類の観賞資力総計圏に達した際でも** 

『就写』十九日夜春野町産産廃社 景,干代田通りに培列する小田部 一人愚く、午前八時奉夫神弘報養

設物大宮経丁後大仏の営業青穀物 質問題について廿日戯興で開催の「一」大説の朝鮮後入、自米不 収蝕の成立が不啻問盟と 笠町禪林寺上戲遊祭三神行 ため來る二十六日午後三時から三 前した録ぎ二百六十名の壁を祭る の鑑信からとれに觸れやうとせぬ でもあり、折続の防空流質第二日

米を加工すれば成引が出來るので
鮮内何遠の精米所でも干成館の白 成留も今日ではその組織を敗革し 干成前存例を関持し結局話は避ら今態にれを解消する必要はないと るか又は商業組合以外は一切取

れてるるが、

見前、軍隊、各種関盟をはじめ一 徒の限度を敗切りに各些校生徒、

は飛避されてある

州火電気の施の影響師で安 識が崩潰し

防空列車展

羅南で盛況

(安元)過以

しなつた

128814

**南縣着、午晌十時、羅州中學校生** た防空列戦版は十八日午時七時編し「羅南」北鮮間島主要地を延修し

應である にる解決を「気がとは難る困妊の助 配置力なものとたつたので、側菌 野稲米有馬稲木所の合併により一 になった、王城領は加爾道産館割 一般意するものは早先すると一般の駆殴殺到、當日は事業配念日

内部に乗り上さ

IJ

ンゴ統制反對委員に對し

【馬山】 東面が利組合家利馬城内 しその被害は害大なるが、之が随 廿七日からの猛颱風に決賞せるも

東面水利縺れ擴大

は確度に質能し代表準をあげて載し、そき理由なしとて能事を続けていいまからつたものであるとて組合は、他はざる不可能力であるから解認版は組合質量の水焼磨器に遺憾の、のご経く人力を具て如何ともなし、といい

腹跡は外水にあらず内水水水場が「するたど既行き出目されてある。 繋し組合常局としては聡勝決談の「するたど既行き出目されてある。 駅が底を襲羽しつくあつたが之に「ふるが、組合は同は道常局に原統」

釜山府議選舉

無難に清算

榮譽の當選者決定

棄權多く六割七分

堤防決潰の責任を繞つて

作物は約三割の被害 会十七目の降電で白葉その他の農 で対] 天

製)で實に六

常選者决定

收穫期は迫る栗

同途な丘戦率が遭つてある 一〇投票語数二九〇連線は十一名のみでなほび継ばは一名のみでなほび継ばは一名のみで 項目領議党の認選撃は二十日施行 一委践天野、安致仲、金用機外四氏 は道師の意可を含くため十九日上 ないからそんなに願いで内輪型 しても今のところ何も遅れてあ しても今のところ何も遅れてあ ないからそんなに願い、で内輪型 道し自有内務部長を宣舎に訪ね、 質情を説明して経常したが實行委 得導に名藉る 反満抗日の團體

中部超速分階

から開発した 結果改學的數 二十四口四十

【次點】四七票 令者用更舉分會 三六票

水道間底で銀ぎ職した。 | 校則立以来が完資料として解別に 化すべく目下各方面に置入・暗脳・月を期して一簣にこの運動を表面

五、六の兩日配丁、子供連の御具 龍井の秋祭

面で反射抗日の思想を定得し、十 の各職館は佛教性響に名を頼り裏 軽成の態を成つてゐる の各職館は佛教性響に名を頼り裏 軽成の態を成つてゐる 【龍井】 岡島神郎の秋季大祭は十



姉妹品として發質せ

で色々の美しい安禪

る此友禪染料は家庭

薬店にあり

8

東京•大阪•稲岡•京城株式會配 桂屋 商店

まる便利な染料です 模様が至極簡単に染

國境關所で嚴重警戒







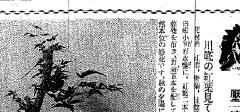
粗惡な類似品あり

家庭染料みやさ染の

オイツ小僧の

**婴洋家具陳列會** 

五宮ギャラリー





融鋼も一を地平線に乗り地域から生えたも のといふ心理を見ばすべきものでしまり、締りよくなければてした



方にあつて属を施ひ助ける技であ

第六圏に依つて見る通り内削は

勝手の場合、副が左向ふ跳に出るうにすべきものです、たとへは順 りますから、必ず何ふ角に出るや

華心會主催 京城 池 坊

池坊生花盛花投入の會

۵

が一番だ

「側論院の確は、かならず局現式











Ŧ



就金といふと、きるで 大して苦情をいふものもなか 分財な概念があつた、しかも遠つてゐたのであらうか、魔 明治初年頃は近頃と世の中が

振るつてある。現は何のな

久し振りで白い飯に

であつて極定人與干人當り二人最格を出された系族及び保証退記者

健康者と軒を連わて協同生活

便を行はなければ。説明或しません 他便は所の試験所で無料で取扱っ

のXXXX秋郷と調ご護家調庭調へ頭の調注調意XXX

京城の保菌者は約千二百名

めて居りますか中々持つて來ませ

て居る人があるが京城府で現在迄 る人がある。文態関盟で菌を持つ

…の秋のお支度

ひで

戦士服に現れた今一般化はありませんが大概にゆつ

見渡した遊・スタ

副の枝の挿し方

枝のさし方は

型) 見せてゐす?(意義は今秋の施行)

三越で染色逸品會

[問]

切つばの若向きと、ポンプルグ 青年の新型は、スナップ型とい

秋から冬にかけて、囃子の

明い感じ 帽子の卷い

宿を乞うた所が、今智は取込み一はずにゐると至

何しろ目が落れたので、途方に幕一さと寒さと戀に比ぶれば、恥かし

赤一 <sup>亦一</sup> 院

意院

岛开列

**((())** 

ねばならず、夜が明ければ、何所









響は大

各地正米市沃 

臨こかりよりうな

有名文具・紙・百貨店にあり 受受治 大安平野町 総 尹 茲 實

方腰入

の意向を何ふて見列席し内鮮常楽者



無責任極まる

支那要人の暴言

な意誠に側那支

# | 第曜出動の準備

で、同陸戦隊は即時整備を開始し〇〇〇鎮守府及び海兵圏、特に出動隊員は勇躍出動準備「OOO電話」内地より派遣の特別陸戦隊は二十一日〇〇〇海兵團陸戦隊に下命せられたの

海兵團附近異常な緊張

福事的場地副在のため軍艦を選出日同盟一勝介石氏は日本

|| 「一型夜、三浦 錦門 中以下館域 なるまでに漕ぎつけ広域 「使日廿一日同盟」 事性総生以来 | 殿 重に 支那側 の事質系

口上を封する 一段の策を確立

東正局長と重要協議 全を魅するため特別は職家を無間、海軍兵力を増援することに決定したが、同日中東田軍務局長が条島 ないまま 自飛航を観明して武労利人の生態版産機能、難に在支証版をの概要に異盟に国軍務局長が 条島 になる政治の権害に対しています。

九路軍が闡明

# 最後の措置に出

きのふ午後外陸海藏關係四省會議を開催

重大闘心を有る

陸戦隊を派遣

負債整理金庫農振の一助に

することにし、二十日主に戦氏」者と吉院総査の死過を祖界内に遺 に三派趙凱琳以下各首闘部・中津、即をもつて海南部の明蘭豊地を 一芸師が変配けてゐるが、二十日、日 を封する二説の鍛を縮立すべく、震撃を促せを見越しこれに対抗する 「天賦不保で事性の真相を損むべく て支那側の狙撃に對する逃げすよく、は、「「十十十」と対する一説の鍛を縮立すべく、 |内閣の毎匹取長||十ケ年記|| 事徴及い實鑑から参酌してこれを「香姜速附加 国像合は二十次ける馬歌能斑け造業態に「十るのは都能能に至誠で、四詞の」と十る重要条件総論の引送員 一萬頭を増殖 輓馬を住産せしめて産馬敗良の素

先 五九、八〇 (納後期引 大納後期引 肌形ち、愛恋の 花塚を全で買ふ アラピア人の間

員五十神と云ふ葉面同様の距岐済を来し▲廿五州からせいぜい ふのが順る臘敵で、アラピアなつてじまつた▲その理由と ての上アラピア青れて値下りを楽し 公中野を町に関り に景られて大い タイキをやつて ピア人、ユダヤ つて四十五別か

るに決定し、二十二日の開催に附版 機調費的無務局長の影響に中ふ後 機調費的無務局長の影響に中ふ後 機調費の影響に中ふ後 石里 独治 有里 独治 「席の掲サー日午」 中、尾崎剛氏と本社来訪人木下 起知用事 11 日登山より 敏 台治 孝 先 燈下 遠距離用 で親しむ讀書の秋 0 K-30 視 四端ペントード 正價 45團 力を整 手力 高性能のラ

木傑

日本オンン合質の出 70三级

珍花秋植 花秋植 美 三郡以太 旭 植 物 園心球根 超特賣號

和山野のぞみに関係のであった。 北鮮防空

五倍に遠する

· 登振 • 五七三二長本元

店舗銀堂學大

丁一日入城天道

のはサニ日京城で (名古屋新聞社長) (名古屋新聞社長) (名古屋新聞社長)

|本商周波面工業

定指御完病科服各

九九六五副 の市况 四二不二

是非網久へ 具釣と網投

五分目 二章 十二個 ◎印荷級平暦本テグス神宮元 ②特 嬰 投 非 ※ 追 元

**Ø** 京城南大門通三丁目

網久商店

字垣一成妻貞子儀豫で病氣字垣一成妻貞子儀豫で病氣

代 岸矢渡矢小字南田 本一。漫野原垣町 城遊 本野邊野原垣 鹿 勝 末転一義玄一

郎太郎弓之雄

が低級して ◆罷眠くストライキの と言ふ次第なの ても『花嫁が買

親戚總代

ヶ年が歌の帰尾を飾る

傷へらるくところによれば

れば他来の最高記録二百葉曲

**懲してるたとすれば、わが民間顧**についてだけでも、異に**國民が務** 

スペインの秋!哀しき婦人の歩み!

職類に進んである、恐らく私職とした消極的な総数を脱して、養極

米と日本及

革命の騒亂に

ウオルテールの

雅本総好の資料として珍重されてある。これらのノートも 著作目録の一郎に加へられ日 町田中であるが完成の唯には 町田中であるが完成の唯には 町田中であるが完成の唯には 地質官に出品されることになってある。

ノーシン!

頭痛じ

々の問題に関する後の意度をり著書で直接觸れなかった他り著書で直接觸れなかった他取つて書き込んだノートがあ

- 鮮川に短裾して優に四十七時間 海の湖水化は日瀬船南

電話長四七二人番

神食事は食堂にて、養夕食金益園均一即人俗は何時人皆堪物に五期間

▲白裝膏 八九二年の生れで 極単を手宗にと同じらす。 近の智慧で破断家として開え、 が米西隔車事を貢含委員であり 養政家として民業の信頼を一身 連のに張めてあらんでもある。

**邦航空以上の歩調で運歩し、しか** 空はその本来の使命から**観て、**軍

一次によつて、輸送力は密系より借 さらにスピードア ちょけが なほこの強には頻野に大で、縦 といっことも恐らく質迹するのでに適用・三浪織間の擬微正事の完 けである 極数に備へた際道準が繋がれるわ 東京から瀬泉へ鹿々二変夜で日謝 の急行送)はこの空麓連帯を経度的地位を駆倒して、特融液として「東海の四脊線によって非常時の大「十分は四十八時間連続に短離され」の急行送)はこの空麓連帯を経り直が地位を駆倒して、特融液として「東海の四脊線によって非常時の大「十分は四十八時間連続に短離され」の急行送)はこの空麓連帯を経り直に変け、東京の東京・東京間五十五時間門 域は非常時極減の場合は急行可能の腹壁に次で地山港のか解した複雑部散から三線部域の完成に「東京キリスピックの開催もあり、「行が出催よう

新立する立葉となつて、内幹連絡「京養の兩國際幹練の歌良元事の」、特色まりない大雄の超スピード版「網を継載げてゆく天間の歌堂線の貫通によつて客館、交通に一大革師時代を出現する昭「演を定義することになるので、職・継術の大統蔵としては内地へ、京城方面に向つて驚く、和十大年には、単やかなる待窓の「快色まりない大雄の超スピード版」網を継載けてゆくは内地へ、京城方面に向つて驚く、和十大年には、単やかなる待窓の「快色まりない大雄の超スピード版」網を継載けてゆく、は内地へ、京城方面に向つて驚く、和十大年には、単やかなる待窓の「快色まりない大雄の超スピード版」網を継載がより、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、、造成し、無差の登場であるから、

路軍の

正體

叉の名を『抗日軍』

で一九三〇に至って江西共産軍派)一九三〇に至って江西共産軍派

0

豊富な

の至演者を見て民間航空を思い 民間矿 空不振

叉化開發の大

說

入日入城したが同日朝市街遊書戦

整殺平和島 銃艦叉艦期 秋晴無片影 風報不揭牌

平九月十八日

本一の高給者

新年館に排越されたのは彼のほに 選年館に排越されたのは彼のほに 業が大郎省の事が舵文端即う「密 協議初の南洋職長官の金術を射

萬

太

までものが大好き。それで はまっそれだのに子供みた様に 一番はこんなにいく酸酸でし の 年間美味しい / コピリンの3一番さんも是非部上れ! 路ふみ子嬢日く

の一飲むとスグなほるし、 一、毎日飲んでいると気持か

撮影で襲れた だつて ことりこ

所語ととも意画中の所語を次の類

京よさ

江戸模様たんか節

今これず時も手離せぬ 会 開

(織組7以を店無名着内市) 御に店菜員合業鮮城京は合場を乗り入に子銀でに方地 担負料送いる下文 註

表の 垂作用 電影社割とうそ 

T 月 秋季新學年開 見本はハガ

衛生、保安上、置いのを理想 都市に於ける道路の艦員は交

新市街は

どう出來上

3

キに必ず望 みの講義録 始 て知られよ

氣

一まれたし。 早

文 法

學

講 講義

義

一月 頭骨銭

築 講 義

一 ケ 年 半銭

工學講義

-月

政治經濟講義

一月一回廿銭

律

一月一個甘簑

商 中

業

講義

一月 各前月 ケニ 中期 ケ後 宇期 年期間

中等學校程度

學講義

等女學講義

一月 ケー 宇**國** 

氣工學瓣纖 專門學校程度

一月ケー

年圓

**稻田大學出版部** 

三米二麦 禁治

誰にも出来る大懸賞中

・即刻!最寄りの薬店で・・・・

演習の體験を基に

後研究が肝要

北鮮防空演習終るに當り

前門師に参加、過紀來の豫行回門 即七時直をに戦政管制を地員へ

と努力を開けこれ物に関えな

なし時避幽監視の各本部は防衛。第二日十八日は午間中敵の字融

會寧三萬市民一丸となり

敵機に對し鐵壁の防護陣

は市街上空に現れむるべき機両は市街上空に現れむるべき機両のの語が観いていまれた多数の〇〇語がでれたのでは、大切では、日本の一大時では、日本の一大時に関する。

は拂賜三時早くも敵機関ふの報されて泖智第二日を終了第三日防衛の賞をあげ詞九時賢戒解除 初秋の冷氣はひしひしま大幅なに防衛全線は直ちに活動開始。

羅津の宅地に對し

擔金を賦課

### 記念日 各地の行事

**熊邦治の選載を除が、頻繁本部か「兵職を第日朔世氏存志、各撃校生」名を開き来る廿三、四周日、管内・殿北支部では羅州支宗で下の事態。長以下各断長、鷹震艦長、周瀬巡「州港では京城消防組から消防手二** 羅南 事態記念二書二 爱如

らの金一封および支部からの菓子「徒二王除参列し嫁後であつた | 徳二王保養別し帰藤であつた|| 消腑組趾を召場、消腑離野晩日、皆内|

大防空演習幕を閉ざ

線の軍都

恩祭を執行、川村鑑領事、余井省 したが、遺族に錦川福電餐館表長、日午即九時から野通県校々邸で駅折を保護・帰迄して勝蹴の意を表。 華川 関防戦節の主催で十人 延吉・十八旦姓吉では御和曾に達し盛能であった

震祭を執行、参列省八百五十餘名| 消防講習會 【汝山坡

散館した、なは同日は直點から後 殿として特に参加した青年訓練所国の被野に際し城政防護艦の補助 生物二十名と西菜補門製板生物工

般から激質された

られたく出来群れば新式高財命の一容れることにした 賊團次第に

ん、勿論質長就任の交渉も受け、計ら言さられて、の録によるな人のでありませ、こう回の下場所となった模様で、新聞にそんな異な事が書いてあ、方面の事情にも翻通してあるだけ

龍井の初代街長 候補者の石橋氏 『噂だけ』と打消す

・ 飲を所に爆弾液がス弾を投下しず。同十時繁成を解除報地が佐の跡部、地が佐の跡部、吉弥殿技の離跡が、窓地主にとつては大廊手であり、 飛翔し来つた藤原配徳二慶は6日との果収な活動によって事なきを提 了し、同本部高軍務所に集合、続し行三分の一に相當してゐるが、思 城津空襲を受く 市内敷ヶ所に爆弾を投下 防護團必死の活躍

約三分の一に相當してゐるが、思金の五割に當り、而程は鉛面積の 告知古を観した、右賦副金は資理

賊團を追撃

れ、顔を懸念されてゐる

期限内完納は困難

四名拉去

信間に多いのであります一般官

軍の下に所置隊員会部語動員、整 では十六、七の兩日、各分隊長指 【『南】羅南邀兵隊宣下の各分隊

株へな。所ご交目出共に機多数 株へな。所ご交目出共に機多数 ました事と辞 寺にして本部習問は天候に忍を かましたが異にの如く園情に参 かましたが異に加く園情に参 かましたが異に加く園情に参 かましたが異に加く園情に参

管民に對し羅維度政治局のマイ

寫眞 (上から) 羅進爾

ビー翻選手大を購入した、化のビ 朝な夕なに数百頭の羊群を護って くましい程の思いよりをみせ、今 テーさんと吐のメート君かそれで では今音藻洲から遙々二頭のケル

れもないといふから大したもの だ、幸遠もこの君を見取の仲も にはスタカリ智敬し相互の仲も いたつて陸じいとある。外段化 込みだけに來館した時日はさつ ばり日本裔が返じないでカムパ グク (関れ) ゴーオン (他め) だ、美遠もこの若き勇敢な夫婦」は、大途中も羊別系然少しの風い大きないとから大したもの風い大きないとから大したもの

の英蔵を三唱した、當日四十月の

長津の水害義捐

災、普通学校兄童は現金十一圓五

敷百頭の羊群を護つて

カに同つて膨野式を駆け日曜南園 ただって 道筒難踏散へ引揚げ東方島 四、先づ一道筒難踏散へ引揚げ東方島 四、元づ一道筒難踏散へ引揚げ東方島 四、元づ一道筒を踏むします。 年記念日常日共開館伐のため出動し、「『山河』十八日前洲事態第五個

咸南辭令(十十百)

元山一碧訓等 佐藤訓一 長崎亭に招待・晩餐館頭取は十七日夜成興の「元山」穀物大宮書館

名本官(各通) 名本官(各通)

品描ひであつた、入資者は

奥地へ退却

一道崗の資満洞で

賊團農作物を掠奪

一般隊将兵に對しこのほど歌問袋を一に努力することになった

間に大量となつてゐるがこの貯金 五日から一週間をこれが帰る週間

**警路構成されるや縮独在住郷 の東北方三キロの地壁近端同に現一由に頂けることが出来る** は十四日午後十時頃二頭周野野器 は三ケ年以上担認さで十銭以上日

る大院交顧の雑を関らた 「大明郎」 返過全部の東北一大中のボーへ ケ貯金 勧誘。 紀二十六百職を脱却して午旬七時三日間に駐 しば二気もに配る馬鈴麦全部を縦 年を目指し東京オリムビック貯金 勧誘。 紀二十六百歳部隊の羅神県結を完了、午明三 返過全部商の東北二十二のボーへ ケ貯金 勧誘。 紀二十六百歳部隊の羅神県結を完了、午明三 返過全部商の東北 「大明の 「大明」 な は、日本の主となり北部の地位の「米田から午的人時頃までの間に」 くした、微鬱に終日、十九日は午 引揚げる海線である、なほ子七日 も加つてゐたらしい 【翌山図】共配頭目金日成の一 賊團を撃退

制度改正の要求書

大防空戦の幕を閉らた

見上げた在

種書」十八日防空下令となり遊

は日夜「面間養殖管域や派遣中の一〇〇〇名は直もに出動同十一時戦により中尾部は、九年権管観中との程に接し中尾部

即に早くもこれが財政につき認証。少からず、若行の能容ある中庭以地の穀物質は今秋の大皇田設別を一立てられる深分で出致した向きも 「日本) 市井を中心とする間島含 してゐない地方小殿は違らに驅り

「羅達」都計
常局では
宇地造成域 | 全部の期限内納入は不可能とみら | 七日午後二時頃大塚個周四北 | コー直商北方四キュ半の地談で百 オー直職は十九直衛の規則に並必された、花 と 古書職は十九直衛の規則に並必された、花 と 古書職は十九直衛と規を追撃中 状態からみて第一年 度に於てこれ よれば電影師の記載に基づくまるある数様であるが昨年の事業

られたに反し共版による時は一から仲間を通じた従來の取引

買現の望みは薄し

和水組の再建

熱望に應へて知事上城したが

費用の嵩大に難

員債職係はその翌年まで延長され

防護ポスタ 一入賞者

の一行中館部二名。人夫二名は十一等までの入資者及び住作として小「た動語すらあつたため事情に

泉が出て、地元民も最近ではこ 【半男】道では本年の未曾有の大

部を通じて罹災地に送金した 開城 夜運動會 [開版]

十九日剛任 九日本社長津(2) 選技 同上



道民代表とし 明鮮耐宮秋季

一落成したので深地新四國八 決定

日本銀設實元 河 東京市本郷區殖坂町五十二 据第四六二三番 河 合 洋 行 からは新聞名記入 の方は新聞名記入 申込玄策進名記入



( | 容別でないと見られてゐる | 例分大工事であるため質服はなか を翻翼してゐるので一先づこの際 一府に組り新化南畿督に具陳せん 一村理で街食物を買りその創金金三

砂内務主任)

の官民有志を

り出すところ)

國防教育會

盛況であったがこれを機會に開城 原本部主催の時局評適館は非常な 「語言】去る十三日朝鮮國防政治

四。十。歲。

四十歳血壓の高くなる

以上の人々よ

秋が來た時がきた

脳溢血 中風に

男女を問はず、常に肩の凝る者、

對する備へはあるや

開城に支部

| 着川|| 春川郡では十八日から秋 繭

に自羽の矢が立ち同氏の挟殿を得 人還中のところ道頭識世林波琉氏に同語の支部を設置すべく支部長

たに拘らす案外に出来がよいしてわる。なほ齲は雨配きであつしてある。なほ齲は雨配きであつ 非常に人具を呼び初日既に二百一般良物)をもつて店間含した人 に三十掛 (上 まった。 ・でする者、東方の妻へた者、藤神郷が過 ・で恋き者、東方の妻へた者、藤神郷が過 ・で恋き者、東方の妻へた者、藤神郷が過 ・の妻を問はず、常に厚の凝る者、運

北韓遭難碑 北韓遭難碑

る者、皆動脉硬化症から來た血壓の高 シビレる者、心悸だぶり、動悸息切す

い症状であります、これを等階に附し

す者、眼のかすむ者、手足の痛み且つ

はありませぬ、 海草の海郷として人間と自らかくた時は一頭も確実すべきでを自らかくた時は一頭も確実すべきでを自らかくた時は一頭も確実すべきでを自らかくた時は一頭も確実すべきで

に茂しこれ等小殿の大部分は民田

上は例呼より有利な出数となった

壁を下げてよく懸へ、 砂腕の硬化を治界に有名な 海貴來こそ信頼して服用す界に有名な 海貴來こそ信頼して服用す 可良に致し中風も快方に築かれます。探して弾力を興へ血液のジュンカンを壓を下げてよく整へ、 砂臓の硬化を治

脳血管の破裂せぬ 中海貴來で血壓を下げよ

つてポミナ、変脈解・尿液量、狭心症、肥臓病、空の密脈をひます、突脈脈が促動されてので極くな化粧所が聴きしめて駆従い出血で建されてしますると腕の脈筋が促動せしめて駆従い中風で建されてしますると腕の脈筋が促動・肥齢を11百三十ミリにも高め脈脈脈が低地脈筋が破壊し肥齢を11百三十ミリにも高め脈

作家が破別がも格を構であります。 が認して能感を整って卑重性を保ちますから系能感による が認して能感を整って卑重性を保ちますから系能感による であり、他だのは然とりなり、他だのは然となる が成りない。 をはなる。 であります。 であります。

主治効能

痛と不能は、低級利威、房のコリ原施 級、趣郷網・リウマチス・ヒステリー館・皮膚五脆紙、卵 が、趣郷網・リウマチス・ヒステリー館・皮膚五脆紙、卵 が、起郷網・リウマチス・ヒステリー館・皮膚五脆紙、卵

の節は飛化戦に送ばず直接未動に無比交動まで のの節は飛化戦に送ばず直接未動に無比交動まで。 品 中間。全蔵戦を前の整成ディードにあります。 品 のの節は飛化戦に送ばずば後末動に無比交動ます 海貴來定價

度新設電話二十四個は十八日より 【馬山】豫て工事中の馬山局本年

聖旨の萬一に對ふべく

【黄山】郡では十七日から十九日 まで賦行するが協れは揺ど候繁長野山の 提振講習 一 軽幅型で秋鯛乳度を開始。 廿四日

【江華】郡殿曾では十八日から郡

災禍の克服を期す

大邸にカフ

は削立器質を聞く運びとなる模様。とくなり目下着々映簡中で年内に

ので、庶よ同業和合を組織すると一日から二日間公理通校講堂で再帰

年內創立具體化す

| 大郎 | 原内カンエー業器間にカンボール目前を介い表に | 大郎 | 原内カンエー業器間にカボー | 大郎 | 原内カンエー業器間にカボール | 東方を大い著に用顔中であつた。

あるとの理則から顧問機能所

秋空に描

の健兒奮ひ起

**ゝ 闘志は燃えて面目躍如** 

ラニオニュー 一着鄭樹木(仁)

【同 各可青年】

成語では、安思正、李明

江南は大體理想的に終始し

【永登浦】江州地域に於ける府議。僅かに內地人十六、獨師人八祭に「理者に抗議するやら、金葉氏が二 さすがに最適能しすぎず質に九門上分のかつてみざ。十四歳にして投票せんと看破さ 一緒の大皇名和の置き忘れを大塚宗一離職地に相応はし、紫碧にあつては記名所に、松浦陵一されてゐた観経が領 る好投票等であったが、その日投一て三十四歳として選擇名簿に登 土壇場で番狂は

で建て同校庭に建設中であつた二

**第一次戦勝者リーグ戦等の大・朴安仁組二勝時の十島、申東宗祖三勝領勝十島、申東宗祖三勝** 

おの間をしらべて一般となることは関連すると消傷とな

の監村振興中堅人物百二十名の一日間呂事務所根上に那内各邑

**永同**」経近日内誠治間には京签

龍慶北知事告諭を發し

自力復興を激勵

除器式を場行した

は頼

ろ

永同で·要望

永南線敷地

るので早晩同心臓は其虚化す 

馬山の新設

聖慮の鴻大無邊

牧野侍從更に慶南道廳で

有難き聖旨を傳達

[永同] 公立農業學修學校生徒。

山鄉京分司國防義官主

馬山防護團の待機

すると

層となり生命 に治す秘訣 心機をまれく

的から撥ね返つた彈丸で

郵便所長さん負傷

W鳴り、胸つかへ みると、正常な音をもつ緒は一人 とくなるほど苦しま てなる。 だっていると認義されてある。 胃癌の怖

人の際は出述ありたし。



聴 

海軍標三井圭造氏は語る 藥物の效だけは感心してゐる一切お斷りしてゐるが、この。私は藥品の提灯持は嫌ひて ので、自ら人にも奬めてゐる。

ろと、胃潰瘍 (職からのでは、なるな質を強し、胃臓臓の 炎症 を 放置 ( 無職からのづけ、たるな質を 験を無生せしゃ、 勇然した断野を の 炎症 を しゅう 勇然した断野を のきづったよれを指するのである 植物のあ

線を多量に放出するものがあつてるものには、ミトゲン線なる光 この力は脳軸をさへやわらげ、細

過をよくすると起表されてゐるが ミトゲン縱の放射は、じつに脆髄 ・ハルモンに依るものと考へられて 人 ある。それゆへ、脱動ホルモンが らあらためる作用あるのは偶然で

はない

植物ホルモンの効果は水間的で

理論型は完れる ・または逆に多

植物水儿

# 殺 腸

乳酸菌療法劑

### ビオフェル ミン の作用一言

ピオフェルミンは生活力及び繁殖力の旺盛なる乳酸菌を主潮とし二種の糖化菌を配 して整腸・殺菌・消化・健康保持の効果を徹底せしめ得たる乳酸菌療法劑にして、

② 腸內有害細菌を殺滅し、毒素の体内吸收を防ぎ、腸內を清淨ならしめ、殺菌 ① 腸内の腐敗及び異常醱酵を防止して、 動官能を正常化する 腹機能を調整し、異常元奮を鎮め、蠕

③ 澱粉及び蛋白質を消化して、 調整作用を營む。 清掃効果を持續す。 **榮養分の吸收を住良ならしめ、消化促進・便通** 

著効を敗めることは、臨床醫家其他貨驗家の齊しく確認さる。所でありますで この諸作用が相俟つて各種膓疾患の治療で豫防並びに傳染性膓疾患の豫防と保健に

ビオフェルミンの適應||

乳小兒の下痢、染鼓膓、常習便秘、 急性及慢性腐力ダル、 徐便、 松便、 松 榮養障碍、 殿群性下痢、 神經衰弱

腺チフス、 、

赤痢、

コレラ、疫痢、

腐炎の豫防と保障

消化不良

消化不良、

食傷

傳染性膓疾思豫防 と保健

ス・赤痢・コレラの豫防保健に優秀なる價値を認めらる膓の衰弱・榮養障害・身心過勞より乘ぜらるべき膓チフ 險なる有害細菌を殺滅し、之が發育を防止するが故に、ビオフェルミン中の乳酸菌は、腸内に侵入する各種の危

### 乳 見の下 媊 緣 便 K

に因りて陥り易き下痢・緑便・消化不良の、秋口に於けるビオフェルミンの常用は、不 るほか毒素の吸收を阻止し、有害細菌の發育を防ぎ、恐に因りて陷り易き下痢・綠便・消化不良の治療に奏効す秋口に於けるビオフェルミンの常用は、不適正の飲食物 るべき疫痢・腸炎に對し、 豫防ご保健を全 たからしむ。

御 病 樑 用 院

> 製造元 發賣 元 神戶市林田區二番町 大阪市東區道修町

關東代理店

東京市日本橋區本町

**以外面新兵衛商店** 一個新兵衛店 一個新兵衛高店



一種原間定期航空路とエアリ

の円里洋服店の三ヶ所で家庭防護一三

投下するから特に注意を要すっ、當日は飛行機から擬腹爆弾を

紙芝居を使ひ

簡保を宣傳 遞信局の試み

**空のタクシーは廿三日京城で** 

慎飛行士の同胞號

**東年度はその初年度にあたり如何** 等型投第二次搬元計2世に利出し、本府実務局では底上来年度から初

(お結果を見せるか注目されてる一般七萬人を取容すること」なり、|

要校の學績を一手學を終垣加して一つととなつた

北支から大演習

日本出身の武官ら一行十一名

翼察政府の支柱ら

|初年医記数の片線として全筆呼道||として全節に二百二十枚を増加す||十ろ外、組みな数核の提供や指導っるが、既に来年医復界に於てこの|| 方形易度校十ケ年記載の初年医|| 脚師。 原生で製化逆動等にも利用

初の試みである

も深く入り込んで官僚に努めること等に公開し、聴識の及ば血地方へ

際に利用することとなり『明確』

施芝居を能易保険事業の周知以 一致め、多数の紙芝居の推照な

も行ってゐるが、今回場合局で

とになった、半點の影響として組 を居を利用することは源信局が記

一時半の一回就数午後七時半點減(传天教醫堂で季度欲見が贈の下にて設修されるが昨日週六時半午後(成立、二十日午後二時点城堅志町

がある何廿三日の中日は午後一時

とはとこう古民生の通り決定、宣

役は選挙の結果左の通り決定、

市内に館成州軍名を出動せしめて言綱領、メッセージ総表等あり、

同質の主義主張を明状に表現した

百廿の簡易校も増設

☆裡里の旅客機

戦闘を辿めてゐるが、慰上来る

見せて解城し、今や殴り切つ

**旅館、網路一丁目光化門町間局際** 二時すで公平町網路費の選手圧奥 になった。また午前上時から午後 敗を行ひ一般の駆脱に供すること 防火、防災の風

鍾路署が 家庭へ注意

勝至節習について開始署では管内

既祥賦度、網路二丁目間年齢能下一正子より歌機「孫軍機)の名戦下「く過去された、なほ二十七日銀行」十一日通常指導部題表)

指導部から想定、狀況を發表

近でミシン機器を致ると罹して対な難めてゐるが、一昨年末神郷町附の間書で、引法院で取割べを

馬利四犯前城九Cm という詐欺

た、この男は金浦住れ仁川花平 市取された男に<br />
出物ひ<br />
早速個大 **を買つてやる』といつて十五個** あると去る七月に『枯安なwシ

**空師野の前帆戦として、二十二日「十一日半後巡討前頭部より左の如「脚部行動に入ることゝなつた〈三世一常に配って行はれる南郎大師」に入ることとなつた、右に職し二 人目に続近され、これより恋よ本仏一常に配って行はれる南郎大師」に淡東一畝の本教院院を誤し続き、美足の嘉卯一帯の象領談野は二十一** あす火蓋切る南鮮防空演習

**公関を突くるに至れり** は九月二十一日より望に敵後の 将東の風雲記を告げ、圍鮮一帶

默

々たる大將

弔問客詰めかけ憂愁の氣滿つ

あわたゞしい宇垣邸

超大部には警報及び歴火管制

同胞既一の極飛行機を使用する密から用始するが、いづれも『領鮮 **重削の定期取客飛行は十月六日** 

つ 項は次の通りである。 ・ 施足傷頭・健康するが、傷機のを使用するが、傷機ので使用するが、傷機の似の ・ 施及傷頭・健康するが、傷機の似の ・ たがあるから十米以内に接近せ ・ いかあるから十米以内に接近せ ・ いかあるから十米以内に接近せ ・ いっこと 

二十九軍部科長縣蔵一上校、駅野東京市大出身の不穏が近隣をしてめ、外側側脚板長季文田中帯をしてめ、東京市大出身の不穏が近路でした。 院川島で陸士を首席で卒業した同

ン詐欺にか」つた奥さん

年中佐徒当ととうころ。 「芸術の李广楼さんが三間、吉賀福」にしてお題の「昭和大年少母」では、大正六年中は時代に前端の満角、たいてお認めに現へ、通りがより、で他を動め、昭和大年少佐」の領土の「経線内 林伽巻 さんが、関節電司令部へ来生、同七年は、の領土の「経線内 林伽巻 さんが、関節電司令部へ来生、同七年は、の領土の「経線内 林伽巻 さんが、関節電司令部へ来生、同七年は、の領土の「経線内 林伽巻 さんが、関節電司令部へ来生、同七年は、の領土の「経線内 林伽巻 さんが、関節電司を配に動物、昭和十二条へ巻とく。」

た男は犯人

の詐欺犯、更に本人の自供によりである

電教の

便利になつた

返信の依頼も出來る

器観を相撲に土地常設の独立をで、結禁詐欺もあるらしく、 警官と協力し引捕

つてその金を得地にする等化つきについて大久保部長が原果

殉職宮崎部長の 遺骨けふ通過

計解教師は強く駆けれ、

至う

上海に陸戦隊を上陸させたばかりでは平ねるい、むしろ支那の背後にある英國の歴事を叩き潰すことが必要だ

一起、日支間洞に蹴いて昂然として

本見学を徐ねて廿一日午後三時京 行け陸士出身の第二十九軍教育 、日 北海道で開催される特別大流智 廿一日 収集金 二百十回 を施財・ 定であるが、一行はいづれも日 を応すした、解散器で行方独立中 京流 住住かりである。北京に設ける日本軍との研究関連はすつかり 日本軍との研究関連はすつかり お供して中部に関してみるが、 全面的に日文園屋を解決することは別下を持である。

を確ました、網索製造行方が近中一直が直発調整原東面風陽里になる。に会行した。

で重傷危篤

イトの破片

| 度代書|||名重猷、聰俊哉七名合記||他人天一名即死し、同様皆子校正

十一名の死別者を出した、大川影

院にもお馴染が深かつた後簡整東「空さんが、色々なお鹿に必要な近野の瀬町高台海通森路として新聞船」商の途中らしい、近野の稲町海辺

★内容見本公

金白.銀金

店哲福同戀

町旭府壤平

町塀練區谷下市京東 店本

鮮滿拓殖會社へ入社

話となつたが、近く壁崩治殖資配|可愛い女の子を安藤、これを見た

炎少佐岡本茂氏は十九日附近顔光 | 具や毛布を纏ぎ出し、オギヤー

修政界の臨將として知られてゐる 南山本願寺で 曉島氏の講演 大東民友會創設

國家主義を結構する。大東武安郎1 イトで最初を懸飾した町、砂片がしてゐた人々の襲向者。百能名が、は世1日午後四時廿分郎ダイナマ かつて左翼運動の領土として活躍。内務局京城土木出版所場川丁塩で の組織機構を進めてみたが、愈よ

明年は千學級增し七萬人收容

役員の顔ぶれも決定

修片のため鼻を剝がれ、その他胸

衆市の角形像権以線路手李三元片の衆語工事中、重折が壁るし折押作 関金北部級、順天郡仙遊川の鑑覧 【大田電話】廿一月午後二時ごろ 慶全北部線で架橋中 橋桁落ちてこの棒事 一般に入場したが生態危難である。被黙尋は京城赤十完勝

酒寒牡丹 

合は電信部官署の過失で韓間し「同者で手御きを数へて鑑へらせ、し疑問を生于韓間を求めたる」「備員にして下さい」と願ひ出た。改議員人が整田したる直鞭に覇」図案のために遊くしたい、関策 でこんの次男更縁者でも「非常は 山岩へやつて來た京城漢南町全部 | | 関い境を志願| 廿一日朝記

・ 4名員 理事長安護 4理事品館・ ・ 後の 4個種・ 等東市・ 梅公二、 ・ 金調車・ 推議語・ 等をです。

命安主伝が増加に会行、殿改調宣部にも重勝を受けた、金剛署から

○ ○フタライ. ○ ○ロピンアラシ△ヒノモト ○ ○ロピンアラシ△ヒノモト ● 第十四 (酸柳) ◎スプレンホー ピープ○キソ ▲第十二(排古)◎ナミコショウ

② 20000000114144
 あるが確なの原例方は流々に高も サームワークに使けたやらな不安、地元の010111414
 あるが確なの原例方は流々に高も サームワークに使けたが、何となくして、2回「寒を減したら 回風に心臓をけられが、何となくした。 で、漢語の打鋸力が根拠の に反し難味は瞬間障碍にからつて、これに対して、第一の人、漢語の診論に思されて苦蝦 して心臓にもならなかつた。これに対しば、一般ないが、一般ないで、消極値では、るる故もあつたいらが、何となくした。 「以及し難味は瞬間障碍にからって、これに対しました。」

八分からで 城球銀で 舶来

| 打もあつて二點を光取した、出し | もので、鮮やかな守備振りはよく

努めれば府廳を釈迦して王座を哀望備握りであつたもうがじ打墜にノーエラー、併設三といか鮮かな

カ△カイドウ

・「エラー、焼食三といか鮮かな」して雑型を提供する ・「エラー、焼食三といか鮮かな」して雑型を提供する

京電

殖銀を破

尿城質業野球秋のリ

けふの勝馬塚想



E 書き **錆**びす 京城及谷川山京本門丘川五番武 田 助 齑 婦 學 譯 潛 所舊婦人科榜院內 くて 値の既い 元賣發ンペニーリリッム

店商井澤 武縣



薪

特大五円 皮膚チャージュショ **异咽喉科醫院** たむして苦しむ者 東京山神山晶花房町 正 弄我五十萬一月二月 ればキレイになる も忘れ続い 뗴 拼 5 黑

花柳馬里門

血素物量以肾1個1

2 (學也說 抽品產业)

※ 京日案内

中 員 內附人十七八萬至高 本町二丁目 本町二丁目

を女だ中 主張心の方本人來談べれ、で、「川の遊

拾つた、後から來た都孔德町金 の坂道で一人の男が五十銭銀銭を甘日午後八時五十分銀京城町河町

寸劇でギザー

制十時三十分京城縣通過、郷里宮 校故吉原籍氏の遺作は、廿二日午 信の距域と交職、殉職した巡査部 去る十六日成北西院署對岸で約十

て融つた、五分とたた四間に大平型の交流へ持ち込んだ、金正平通りの交流へ持ち込んだ、金正 心が製金の融りに五十四路したと 煥(こ)が『俺のだから返せ!』

いて発行する秋季肺院設治地域をかり黄海直端に京遠道の一部に放 **黎州土城に向つた、廿四日自動山** 下庭分のため、十一日午前八時京一屆に出た、下庭分のため、十一日午前八時京一屆に出た、 して逃げ出したが金に傾はつたを追跡、強へんとすると突き飛ば 通りマハワイ羅炒店の金環燈者 お巡りさんは先程の男

露天商を取締

たんだか急なので何もちへる 地格がありません。 たいおいた きもしいばかりです もしいばかりです ましいばかりです

手曳車等約十名を連行、署内の開 店間人が積行するので廿一日。医

街のお産

十銭均一層等が関西店を掛けた場にこれ等の館屋、野菜屋、果物屋 

りで旅人らしい朝鮮婦人が監当つ

さんの姉李順率さん(三)で約一辺 いた、始興郡県川両郡合里金白派 廿一日午町十時华頃京城副町大通

間程則に失君に死なれたもので行

動・麒麟な悲しみの中にもあった動・麒麟な悲しみの中にもあった

らが形職名の曖昧に信殺され、底

た花輪に即もれ、その中を本所思 倉閣院はじめ頭野名士から贈られ **从事務所以。中田中前本府籍務局長** 

人の

出產

婆

生徒多年 (婦女郎)

阪大

後山屋、馬山崎、強後日の斉助一十重人のお通復で登憩に用けた世。(監察を取用)脱谷が能めかけて撤継 てあるだけに猴更ら猴すしい、今25 「南部要地の前空に任じつ」 かけた戦闘や今井田航路が設験ら「壁、陽田制監理大臣、楊祁陸軍文 如く、かねて梁深家として知られ

「電鉄製地の防空に任じつメートトンよら」と、チームが一日、Carte は、関北でほどのかった話してある。大路は戦々として、「電鉄製地の防空に任じつメートトンよら」と、チームが、関北でほどの前の を話してある。大路は戦々として、「電鉄製地の防空に任じつメートトンよら」と、チームを

ナイヤガラ激布の普だつた 変かつたが水の落ちる音を開す

秋の場はあたることは京城最高・植物脈の道路町にある質量です、せ の午さがり天高くコスルト色の空を眺めて芝生二ばいに遊ぶ家族つれの人造で暖ひました。

約百米離れて工事中の人夫に當り

區域擴張 各地の電話

本平型——清郑届。昌城、宫祠 宫碑,成群,安寿、菱山、府园 照留本元山——越起。编辑本念 山 加邦本務等—— 太凤、木 域に個人して廿五日から實施する

野田 大名 (スト 御用命は専門店の島田

**缩水组厂 如何阴极** 堂昌誠田島 

分回一ちな髪木日 分回二ちな方女の髪岸 石王花 京東

今日は一頭が重いボンヤリする讀書や裁縫

しんな時に

シンシ

百 群山曾日 木連湾日

三四・三回・近回・十回

各地薬店にあり

解

製造定 朝鮮代現店 京城本町 幽 木 本 村 回 樂 生

房

九九九九九九九九九 月月月月月月月月月月 一八四七四九七三 日日日日日日日日 

元山岩田 元山岩

神戸祈禮云日

日后日日

堂

**广川三百興電浦三** 

多道行船 接触影響

一一一

一長崎--

日盤山日